

高度利用者向け 緊急地震速報専用受信端末

KG-100 取扱説明書

ユーザーガイド

本機器は緊急地震速報(予報)を受信し、各地での震度、到達時間を瞬時に予測演算し発報を行なうものです。

緊急地震速報(予報)のシステム上、発報が実際の地震到達に間に合わなかったり、予測数値に誤差が生じたり、また誤報を受信する場合がありますので、予めご了承ください。

はじめに

このたびは

本機器をお買い上げいただきまして、

誠にありがとうございました。

本機器を安全に正しく使用していただくために、

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり

十分にご理解ください。

お読みになったあとは、大切に保存してください。

免責事項について

1. 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
2. 本製品の使用、または使用不能から生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切の責任を負いません。
3. 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
4. 当社が関与しない接続機器などとの、意図しない組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
5. お客様ご自身または本製品の修理に関して知識のない方が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
6. 修理や点検のとき、設定内容などが消失する場合があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. 安全上のご注意	2~9
2. ご利用になる前に	10~14
◆ 緊急地震速報(予報)とは	10
◆ 緊急地震速報(予報)の発信条件	10
◆ 必要ネットワークについて	10
◆ 緊急地震速報を見聞きしたときは	11
◆ 行動の具体例	12
◆ 地震発生時の定義とその状況	13
◆ 本体と付属品の確認	14
3. 各部の名称	15
4. 設置方法・接続方法	16~21
◆ 構成イメージ	16
◆ 電源の接続	16
◆ インターネットを介した配信サーバへの接続	17
◆ 接点信号の接続(放送連動・エレベータ連動)	18
◆ 頭切れ防止	18
◆ 接点信号線の接続機能	19
◆ 接点信号線の取り外し	20
◆ 音声ライン出力の接続(放送連動等)	20
◆ 本装置の固定	21
◆ 本装置の音量の調整およびテストボタン	21
◆ MODE スイッチについて	21
5. 初期設定項目について	22~27
◆ IP アドレス情報	22
◆ 発報判定情報	22
◆ 音声発報設定	23
◆ 音声発報設定	24
◆ 放送遅延	25
◆ 接点動作設定	26
◆ 発光発報設定	27
9. ご注意	28

1

安全上のご注意

■ この取扱説明書の表記について

◆ 安全にお使いいただくための絵記号について

本取扱説明書では、いろいろな絵記号を使っています。これは本機器を安全に正しくお使いいただき、ご利用のお客様自身や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを表しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを表しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを表しています。

1

安全上のご注意

また、危害の内容がどのようなものかを表すために、前ページの絵記号と同時に次の記号を使っています。



△で表示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。その横には、具体的な警告内容が示されています。



⊘で表示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。その横には、具体的な禁止内容が示されています。



Ⓛで表示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。その横には、具体的な指示内容が示されています。

◆ 異常や故障のとき



警告

本機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなったことを確認して、当社お問合せ窓口にご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本機器の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなったことを確認して、当社お問合せ窓口にご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



ACアダプターの本体やケーブル、電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

1

安全上のご注意

◆ 設置されるとき



警告



使用できる電源は交流100Vです。
それ以外の電圧では使用しないでください。
電圧の大きさにより内部が過熱したり、劣化して感電・火災の原因になります。



同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。
コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響をおよぼします。



梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると窒息の原因となります。



外部制御機器と接続される時は、本取扱説明書および外部制御機器の取扱説明書をよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、本機器および外部制御機器が故障する原因となります。



注意



振動している場所や傾いた場所などの不安定な場所に置かないでください。
本機器が落下して、けがの原因となります。

本機器を移動する場合は、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続されたケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

ACアダプターの電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本機器が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

1

安全上のご注意

◆ ご使用になるとき



警告



濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



ACアダプターの電源プラグにドライバーなどの金属を近づけないでください。
感電・火災の原因となります。



ACアダプターは、次のことに注意してお取り扱いください。
感電・火災もしくは発熱によるやけどの原因になることがあります。

- ・絶対に分解しないでください。
- ・水を使用する場所のそば、湿気が多い場所、温度条件の厳しい場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。
- ・水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。
- ・上に物を置かないでください。
- ・必ず付属のコードセット(電源コード)を使ってください。
- ・他の機器に使用しないでください。



水を使用する場所のそば、湿気が多い場所、温度条件の厳しい場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。

電気絶縁の低下によって感電・火災の原因となります。本体内部にほこりがたまることによって、精密部品の冷却を妨げ、故障ややけどの原因となります。



本機器の上や周りに、花瓶・コップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本機器の内部に入って、感電・火災の原因となります。



コネクタなどの開口部から、本機器の内部に金属物や紙などの燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

1

安全上のご注意



雷が鳴り出したら、本体やケーブル類に触れないでください。

感電・火災の原因となります。

雷が鳴り出しそうなときは、ACアダプターやケーブル類を取り外し、雷が止むまで取り付けないでください。



添付もしくは指定された物以外のACアダプターや電源コードを本機器に使ったり、本機器に添付のACアダプターや電源コードを他の製品に使ったりしないでください。

感電・火災の原因となります。



ACアダプター本体に電源コードをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。

電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となります。



本機器をお客様ご自身で修理・分解・改造しないでください。

感電・火災の原因となります。修理や点検などが必要な場合は、お問合せ窓口にご連絡ください。



ACアダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードや電源プラグが傷つき、感電・火災の原因となります。

1

安全上のご注意



注意



本機器の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となることがあります。



落下等、強い衝撃を与えないでください。落としますと本機器が破損される原因となります。



本機器を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



本機器を直射日光が当たる場所、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



使用中の本体やACアダプターを布などで覆ったり、包んだりしないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



LED表示部に無理な力を加えないでください。
破損の原因となります。



殺虫剤や揮発性の薬品等を本機器に付着させないでください。
変色や、塗装の傷みなどの原因となります。

1

安全上のご注意

◆ ご使用になるとき



警告



ACアダプターや電源プラグはコンセントから時々抜いて、コンセントとの接続部分およびACアダプターと電源コードの接続部分などのほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると、感電・火災の原因になります。

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因となります。

- ・ 電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
- ・ 電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認してから差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。
- ・ グラグラしないコンセントを使ってください。



本機器の各種端子には当社または販売店が指定したケーブル、コネクタ以外の物は差し込んだり、挿入しないでください。

故障、感電・火災の原因となります。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、感電・火災の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、本来の目的以外に使用しないでください。

壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因となります。



目的以外の使用

- ・ ケーブルは足などに引っかからないように、配線してください。足を引っかけると、けがや接続機器の故障の原因となります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ・ ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。

1

安全上のご注意



電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・ コンセントを別にする
- ・ 放送局などのアンテナの近接や無線機などの近くへの設置は避けてください。誤動作の原因となることがあります。



心臓ペースメーカーを装着時の使用

心臓ペースメーカーの装着部分から22cm以上離してご使用ください。電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

◆ 固定方法について



本機器はビスや両面テープ等を用いて、固定してご利用ください。

電源アダプタ・イーサネットケーブル・信号線等は、引っかけて事故が発生したり、ケーブルの断線や抜けたりが発生することのないように配線および固定してください。

◆ 設置場所について



本機器は、設置時に御連絡頂いた住所情報を基に、設置場所の緯度・経度・地盤増幅率を設定致しますので、使用開始時には、設定情報を御記入の上、当社に御連絡下さい。



本機器の設置場所を移動される際は、移動先の住所情報を当社に御連絡ください。



本装置は屋内用です。また、風雨にさらされる場所への設置は避けてください。

◆ 緊急地震速報(予報)とは

● 地震の揺れの仕組み

地震が発生するとP波(初期微動)およびS波(主要動)と呼ばれる2つの波が地中を伝播します。この波の伝播速度はP波のほうがS波より速いため、初めにP波が伝わり、それから「主要動」と呼ばれる大きな揺れをもたらすS波が伝わってきます。

● 「緊急地震速報(予報)」システム

日本全国にある約1,000カ所の地震計を利用し、地震発生時には震源に近い観測点(地震計)でこのP波をとらえます。そのデータから直ちに震源(経度・緯度)、地震の規模(マグニチュード)を推定し、これを情報として迅速に利用者に提供するシステムを「緊急地震速報(予報)」と言います。

● 緊急地震速報(予報)の発報

本機器はこの情報を受信し、設置している地点の各種情報(緯度・経度・地盤増幅率)をもとに実際に起こる地震の大きさ(震度)と到達までの時間を予測演算し、発報します。

※地盤増幅率とは・・・表層地盤の構造(硬さ)をもとに揺れの伝わる割合を表すものです。

※システム上、発報が実際の地震到達に間に合わなかったり、予測数値に誤差が生じたり、また誤報を受信する場合がありますので、予めご了承ください。

◆ 緊急地震速報(予報)の発信条件

- 気象庁の多機能型地震計設置のいずれかの観測点において、P波またはS波の振幅が100ガル以上となった場合。(※1)

- 解析の結果、震源・マグニチュード・各地の予測震度が求まり、そのマグニチュードが3.5以上、または最大予測震度が3以上である場合。なお、この基準は変更する場合があります。

(※1) 1点の観測点のみの処理結果によって緊急地震速報(予報)を発信した後、所定の時間が経過しても2観測点目の処理が行われなかった場合はノイズと判断し、発表から数秒～10数秒程度でキャンセル報を発信します。島嶼部など観測点密度の低い地域では、実際の地震であってもキャンセル報を発信する場合があります。なお、この場合には、キャンセル報の発信までに30秒程度かかることがあります。

◆ 必要ネットワークについて

- ① ADSL、FTTH などのインターネット常時接続回線が必要です。
- ② 外向き(LAN ⇒ WAN)のデータを許可するようにファイヤーウォールの設定が必要です。(専門知識の無い方はファイヤーウォールの設定をしないことをお勧めします。)
- ③ 独自プロトコルで通信を行うため、プロキシ経由での通信には対応しておりません。



本機器は、お客様の地震による被害を極力少なくするためのものであり、お客様の財産や命を守るためのものではありません。実際に地震が発生した時のために、避難経路などを確認し、日ごろから地震対策を十分に行なってください。



緊急地震速報(予報)の受信は、お客様自身の自己責任でなされるものであり、当社および販売店は、使用によって発生したいかなる損害(速報内容の誤報により生じた損害を含み、直接損害・間接損害の別を問わない) やその修理費用等に関して、一切の責任を負いません。

◆ 緊急地震速報を見聞きしたときは

緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。

このページでは、さまざまな場面において緊急地震速報を見聞きした時に取るべき行動の具体例について解説しています。

地震の揺れを感じる前に緊急地震速報を見聞きした時も、緊急地震速報を見聞きする前に地震の揺れを感じた時も、行動内容は同じです。

ふだんから、家屋の耐震化や家具の固定など、地震に備えましょう。

◆ 行動の具体例

屋内にいるとき

- 家庭では
頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
あわてて外に飛び出さないでください。
無理に火を消そうとしないでください。
- 人がおおぜいいる施設では
施設の係員の指示に従ってください。
落ち着いて行動し、あわてて出口には走り出さないでください。



乗り物にのっているとき

- 自動車運転中は
あわててスピードを落とさないでください。
ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促してください。
急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとしてください。
大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。
- 鉄道やバスなどに乗車中は
つり革や手すりにしっかりつかまってください。
- エレベーターでは
最寄りの階で停止させて、すぐに降りてください。



屋外にいるとき

- 街中では
ブロック塀の倒壊等に注意してください。
看板や割れたガラスの落下に注意してください。
丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。
- 山やがけ付近では
落石やがけ崩れに注意してください。



(出典) 気象庁ホームページ www.seisvol.kishou.go.jp

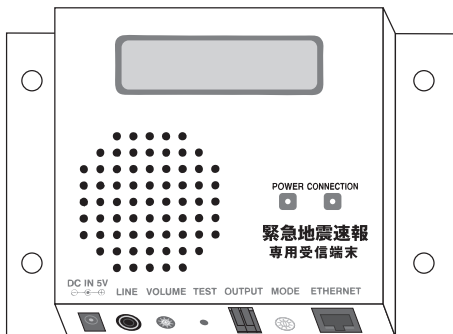
◆ 地震発生時の定義とその状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
震度0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	———	———
震度1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がある。	———	———
震度2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	———
震度3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
震度4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
震度5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
震度5強	大半の人が、物につかまらないうち歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
震度6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
震度6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
震度7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

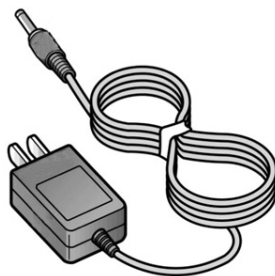
2

ご利用になる前に

◆ 本体と付属品の確認



● 本体×1個



● 電源アダプタ×1個

● 取扱説明書×1

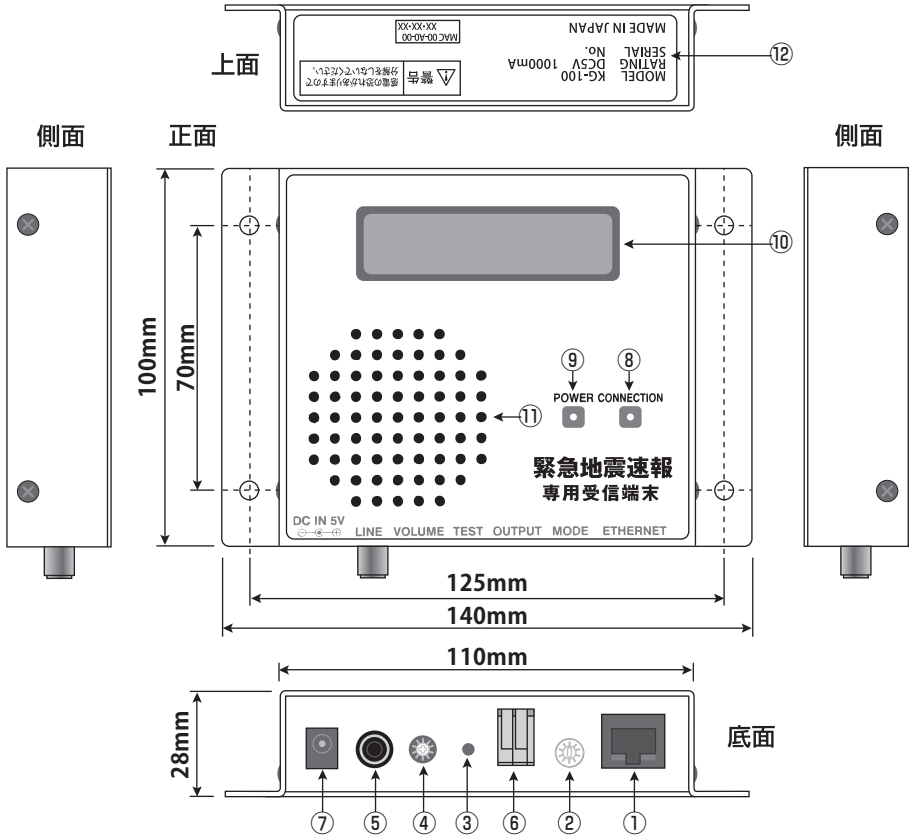
※注意

- ・ インターネット接続に必要な、ルータ及びイーサネットケーブル、また、放送設備との接続用の音声ケーブルや接点信号用ケーブルについては、付属していません。
- ・ 本体固定に用いるネジ・両面テープ等は付属していません。

3

各部の名称

◆ 各部の名称および寸法



①:イーサネットインターフェース
(LINK、100M LED 付き)

②:モード設定スイッチ

③:テストスイッチ

④:ボリューム

⑤:音声LINE 出力

⑥:接点出力(1出力A タイプ リレー-接点)

⑦:DC ジャック(DC5V)

⑧:TCP/IP コネクション表示

⑨:電源ON 表示

⑩:警報表示

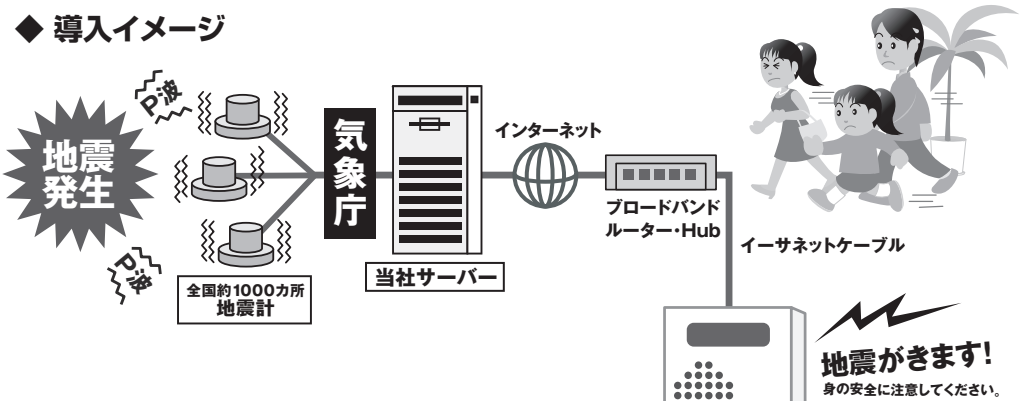
⑪:スピーカー

⑫:定格銘板

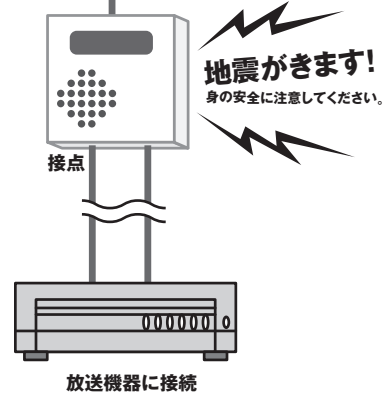
4

設置方法・接続方法

◆ 導入イメージ



電源およびイーサネットケーブルの接続図



◆ 電源の接続

1. 本機器付属品の専用ACアダプタをご使用ください。付属品以外の電源を使用された場合は動作保証対象外となります。
2. 本機器付属品の専用ACアダプタを、AC100Vコンセントにさしてください。日本国内のAC100Vのみに対応しております。
3. 専用ACアダプタのジャックを、本装置のDC INのコネクタに根本までさしてください。
4. 本機器に電源スイッチはありません。電源を再起動する場合は、ACアダプタのジャックを抜き、5秒以上経過した後にさし直してください。

◆ インターネットを介した配信サーバへの接続

1. 本機器は、インターネットを介してTCPプロトコルによる通信を行い配信サーバに接続し、緊急地震速報データの受信を行います。
2. 初期設定では、本体IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイIPアドレス・DNS サーバIPアドレスをDHCPで取得します。IPアドレスを固定設定する必要がある場合は、設置する前に販売店にお問い合わせください。
3. イーサネットケーブル(カテゴリ5以上、ストレートケーブル)で、ブロードバンドルータもしくはHubと、本機器のイーサネットコネクタを繋いでください。
4. 本機器のイーサネットコネクタ下部にある、リンクアップLED が点灯することを確認してください。
5. 本機器上面のPOWER LEDが点滅後に点灯、またCONNECTION LEDが点灯することを確認してください。

- ※ 本機器の通信は、全てが機器側からサーバへ、セッションを張って情報取得するようになっています。インターネット側のグローバルIPからLAN側の機器へ、ポート転送やDMZ設定をする必要はありません。機器側からの接続要求に対するサーバからの返答によって通信を行います。
- ※ ファイアウォール等で本機器が使用するポートの通信経路が塞がれている場合は、本機器がサーバに接続することができません。(POWER LEDが点滅したままになります。)
- ※ 独自プロトコルで通信を行うため、プロキシ経由での通信には対応しておりません。
- ※ 他のシステムで大きなデータのやりとりをしている等、通信環境に定期もしくは不定期に遅延が発生する環境への設置は避けてください。(サーバからの緊急地震速報の伝達が正常に行われない可能性があります)

4

設置方法・接続方法

◆ 接点信号の接続(放送連動・エレベータ連動)

1. 本機器は、警報発報時に他のシステムとの連動を行うため、Aタイプ出力接点1つを備えています。
2. 出力接点は、平常時は非通電状態となっており、指定の動作震度以上の緊急地震速報を受信した時に通電状態となり、設定した動作時間完了後に非通電状態に戻ります。
3. 接点出力の設定は下記の3パターンのいずれかを設定できます。
 - ・デフォルトの設定では、放送連動(番号2)、設定時間0秒です。
 - ・設定変更を御希望の場合は、販売店に御連絡ください。
 - ・エレベータ連動の場合は、設定値がエレベータメーカーにより異なるので御注意ください。

番号	名称	動作内容	設定可能時間
0	速報受信連動	緊急地震速報を受信し、動作を開始してから何秒間維持するかを指定する。1秒で設定するとワンショットとなる。	0~180 (単位:秒)
1	エレベータ連動	緊急地震速報を受信して通電状態となり、到達予定時刻後から何秒間維持するか指定する。	0~180 (単位:秒)
2	放送連動	緊急地震速報を受信して通電状態となり、本装置からの音声アナウンス終了から何秒間維持するか指定する。0秒で指定すると音声アナウンス終了と同時に非通電状態となる。	0~180 (単位:秒)

4

設置方法・接続方法

◆ 頭切れ防止機能

放送機器との連動時、放送アンプの動作時間による頭切れを防止するため、放送遅延の設定が可能です。

- ・0.1秒単位・0.0～60.0秒の範囲で設定が可能です。
- ・デフォルトの設定では、放送遅延0.0秒となっています。
- ・設定変更を御希望の場合は、販売店に御連絡ください。

◆ 接点信号線の接続

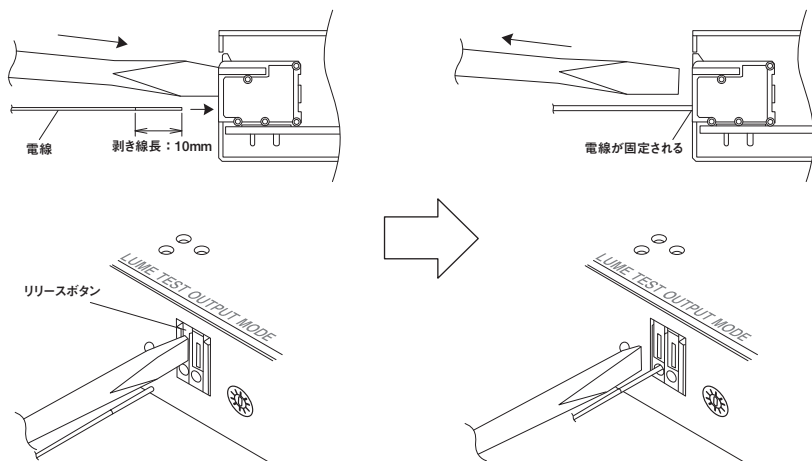
・使用可能電線範囲は、

単線： $\phi 0.4\text{mm} \sim \phi 1.2\text{mm}$ (AWG26～AWG16)、

撚線： $0.2\text{mm}^2 \sim 0.75\text{mm}^2$ (AWG24～AWG20)、素線径 $\phi 0.18\text{mm}$ 以上です。

・剥き線は10mm 必要です。

・端子台のリリースボタンを押しながら電線を差し込み、ボタンを離すと固定されます。
(単線 $\phi 0.8\text{mm}$ 以上はボタンを押さずに挿入可能です。)

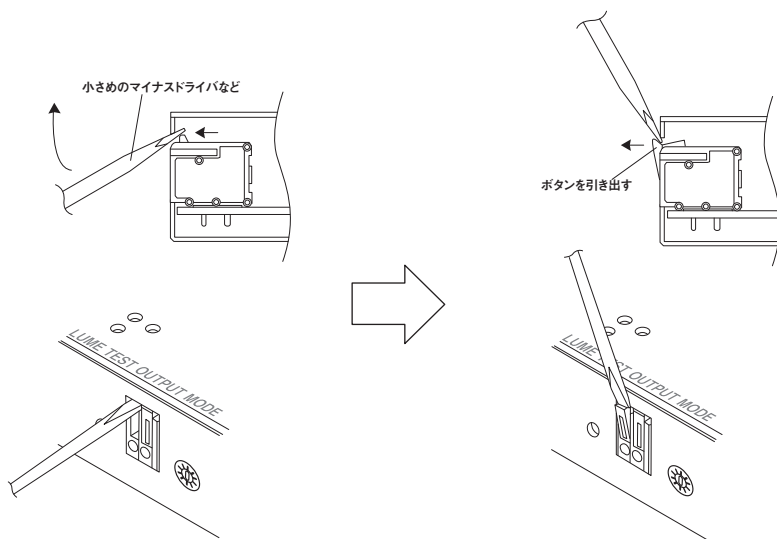


4

設置方法・接続方法

◆ 接点信号線の取り外し

・小さめのマイナスドライバーなどでボタンを手前に引き出してください。



◆ 音声ライン出力の接続(放送連動等)

1. 本機器は、音声出力用のライン出力があります。(モノラル・RCA コネクタ)
出力形式 : 0dBs/10kΩ/不平衡
2. 音声ライン出力の音量は固定です。音声ライン出力のボリュームは放送機器側で調整してください。
(本装置のボリュームは内蔵スピーカーに対するものであり、ボリュームを変更してもライン出力の音量は変化しません)
3. 放送機器と音声ライン出力を、RCA コネクタを介して接続してください。

4

設置方法・接続方法

◆ 本機器の固定

1. 本装置は、落下等による事故やケーブルの外れを防ぐため、ビスや両面テープで固定してください。

◆ 本機器の音量の調整およびテストボタン

1. 本機器のスピーカーの音量は、VOLUMEを回すことにより調整できます。精密ドライバ等で左右に回して調整してください。
2. 本機器のTESTボタンを押すと、5秒間「テストです」の音声アナウンスを繰り返します。その際に、接点も同時に動作します。(アナウンス終了時に接点は非動作状態に戻ります)なお、放送遅延が設定されている場合は、放送遅延を反映した状態で音声アナウンスを行います。
3. 本機器のTESTボタンの音声内容を訓練用音声に変更することができます。設定変更を御希望の場合は、販売店に御連絡ください。

◆ MODE スイッチについて

1. MODEスイッチは0番に設定した状態でご使用ください。他の番号はメンテナンス時に使用するものであり、通常は使用しません。
※MODEスイッチが0番以外に設定した状態では、正常動作しませんので御注意ください。

5

初期設定項目について

本機器をご利用いただくにあたり、予め以下の項目について設定が必要になります。お申込み時に販売店にご連絡下さい。※設定後に変更が必要な場合は販売店にご連絡ください。

◆ IP アドレス情報

初期設定では、本体IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイIPアドレス・DNS サーバIPアドレスをDHCPで取得します。IPアドレスを固定設定する必要がある場合は、下記項目を予め販売店に御連絡ください。

※IP アドレス固定設定は、出荷前に設定する必要がありますので、必ずお申し込み時に販売店に御連絡ください。

- 本体IPアドレス(必須)
- サブネットマスク(必須)
- デフォルトゲートウェイIPアドレス(必須)
- プライマリDNSサーバIPアドレス(必須)
- セカンダリDNSサーバIPアドレス(任意)

◆ 発報判定情報

住所情報

本機器を設置・利用するご住所を御連絡下さい。ご連絡情報に基づき、緯度・経度・地盤増幅率を設定します。本機器の設置・利用場所を変更する場合は、移転先を販売店に御連絡下さい。

動作震度

本機器による音声アナウンスおよび発光による発報動作震度の閾値を設定します。デフォルトの設定は震度4です。(推奨設定震度は震度4以上です。震度3以下でご利用の場合は、距離減衰式の誤差が大きくなるため推奨致しません)

確からしさ

緊急地震速報には、3つの確からしさのパラメータ(震央・深さ・マグニチュード)があります。基本的に、複数の地震計で震源を割り出した情報は確からしさの値が高くなります。(単一の地震計で検知した情報の場合は確からしさが1となります)デフォルトの設定はそれぞれ1です。(確からしさ2以上のデータを判定対象とします)

マイナス秒処理

本機器が緊急地震速報受信後に到達予定時刻を計算し、すでに到達予定時刻を過ぎていた場合の発報動作設定です。

0:非対応・・・発報しない。

1:全対応・・・音声・発光・接点による発報動作を行う。

2:接点非対応・・・音声・発光による発報動作を行う。

上記のうち、0:非対応 以外の場合、マイナス秒処理対応時間が設定できます。設定範囲は0.0～600.0(秒0.1秒単位)です。デフォルトは1:全対応、マイナス秒処理対応時間は60.0秒です。

◆ 音声発報設定

発報音声パターン

カウントダウンもしくは一般向け(あいまい)の音声アナウンスが選択できます。

カウントダウン発報

●初期発報

報知音(ポウ・ポウ・ポウ) × ○回 + 震度

(○回は繰り返し回数。0～9 回で回数指定可能。デフォルト1回)

●到達予定時刻前

100 秒前以降から10秒毎のカウントダウン+震度

(30秒前+震度・・・20秒前+震度・・・)

10秒前から1秒毎のカウントダウン

(10・9・8・7・6・5・4・3・2・1)

●到達予定時刻後

到達後フレーズ1 + 到達後フレーズ2 × ○回

(○回は繰り返し回数。0～9 回で回数指定可能。デフォルト2 回)

到達後フレーズ1 および到達後フレーズ2は13個のフレーズより選択可能です。

デフォルト設定

・到達後フレーズ1「地震がきます」

・到達後フレーズ2「身の安全に注意してください」

5

初期設定項目について

◆ 音声発報設定

一般向け(あいまい表現)発報

● 初期発報

報知音(チョリンチョリン)×○回 + 「地震発生」

(○回は繰り返し回数。0~9回で回数指定可能。デフォルト2回)

● 到達予定時刻前

到達前フレーズ1 + 到達前フレーズ2 + 到達前フレーズ3

(到達予定時刻までフレーズ1からフレーズ3をループ)

到達前フレーズ1および到達前フレーズ2

および到達前フレーズ3は13個のフレーズより選択可能です。

デフォルト設定

到達前フレーズ1「地震がきます」

到達前フレーズ2「強い揺れに注意してください」

到達前フレーズ3「危険なものから離れてください」

● 到達予定時刻後

到達後フレーズ1 + 到達後フレーズ2 ×○回

(○回は繰り返し回数。0~9回で回数指定可能。デフォルト2回)

到達後フレーズ1および到達後フレーズ2は13個のフレーズより選択可能です。

デフォルト設定

到達後フレーズ1「揺れが収まるまで待機してください」

到達後フレーズ2「係員の指示に従ってください」

5

初期設定項目について

選択可能フレーズ一覧

	コード	フレーズ
初期発報	occur01	地震発生
	occur02	緊急地震速報
	occur03	地震警報です
	occur04	地震警報が出ました
到達予定時刻前	alert01	地震がきます
	alert02	身の安全に注意してください
	alert03	強い揺れに注意してください
	alert04	危険なものから離れてください
	alert05	机の下にもぐってください
	alert06	強い揺れに警戒してください
到達予定時刻後	after01	揺れが収まるまで待機してください
	after02	係員の指示に従ってください
	after03	安全が確認できるまで、待機してください

上記の13種類以外のフレーズを御希望の場合は販売店に御相談ください。
 オプションでカスタマイズ対応が可能です。
 (音源ファイルはお客様で御準備ください。)

◆ 放送遅延

放送機器との連動時、放送アンプの動作時間による頭切れを防止するため、放送遅延の設定が可能です。0.1秒単位・0.0～60.0秒の範囲で設定が可能です。デフォルトの設定では、放送遅延0.0秒となっています。

5

初期設定項目について

◆ 接点動作設定

●接点動作震度

本機器の接点出力による発報動作震度の閾値を設定します。(音声・発光とは独立して設定できます。)(推奨設定震度は震度4以上です。震度3以下でご利用の場合は、距離減衰式の誤差が大きくなるため推奨致しません)

デフォルトの設定は震度4です。

●接点出力パターン・接点通電時間

接点の動作パターンおよび接点通電時間を指定します。下記の3パターンのいずれかを設定できます。デフォルトの設定では、放送連動(番号2)、設定時間0秒です。エレベータ連動の場合は、設定値がエレベータメーカーにより異なるので御注意ください。

番号	名称	動作内容	設定可能時間
0	速報受信連動	緊急地震速報を受信し、動作を開始してから何秒間維持するかを指定する。1秒で設定するとワンショットとなる。	0~180 (単位:秒)
1	エレベータ連動	緊急地震速報を受信して通電状態となり、到達予定時刻後から何秒間維持するか指定する。	0~180 (単位:秒)
2	放送連動	緊急地震速報を受信して通電状態となり、本装置からの音声アナウンス終了から何秒間維持するか指定する。0秒で指定すると音声アナウンス終了と同時に非通電状態となる。	0~180 (単位:秒)

5

初期設定項目について

◆ 発光発報設定

●LEDモード

発光による発報は、赤・黄・緑の3色のLEDによる点滅(点灯)により発報を行います。震度連動・猶予時間連動の2つのモードから選択できます。

デフォルト設定は猶予時間連動です。

震度連動の場合

想定震度の大きさによって、発光する色が変わります。

デフォルト設定

震度4以下…緑 **震度5弱～震度5強…黄** **震度6弱以上…赤**

猶予時間連動の場合

地震到達予定時刻の残り時間に応じて色が変わります。

デフォルト設定

到達予定時刻まであと10秒より長い……緑

到達予定時刻まであと10秒以下～6秒…黄

到達予定時刻まであと5秒以下……………赤

●LED点滅設定

LEDの点滅間隔を設定します。0.0～3.0(秒、0.1秒単位)で設定可能です。0.0にすると点滅せずに点灯したままとなります。デフォルト設定は0.5秒です。

※本書についての注意

1. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
また個人としてご利用になるほか、著作権法上、当社に無断で使用できません。
4. 本機器の仕様、価格、外見などは予告なく変更することがあります。
5. 本機器は、日本国内での使用を前提に設計したものです。海外では使用しないでください。本書に記載されている社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

NO.	発行年月日	版数	記載変更内容
1	2009年 5月19日	初版	初版発行

